

「(仮称) 町田市産業振興計画19-28」の策定について

「町田市産業振興基本条例」に基づき、2014年度から開始した「町田市新・産業振興計画」は、2018年度をもって計画期間が終了します。2019年度以降の産業振興に係る10ヶ年計画「(仮称) 町田市産業振興計画19-28」の策定に向けた進め方及び方向性について報告します。

1 計画策定の背景・目的

町田市は、長年「商都・町田」と呼ばれ、小売業を始めとする商業の集積を中心に発展を遂げてきました。しかし、近年は強みの商業にかげりが見え始めており、今後は人口減少による消費市場の縮小も推測されています。また、ICT技術の産業分野への普及や、消費者の価値観の変化など、市の産業振興を取り巻く環境も大きく変化を続けています。

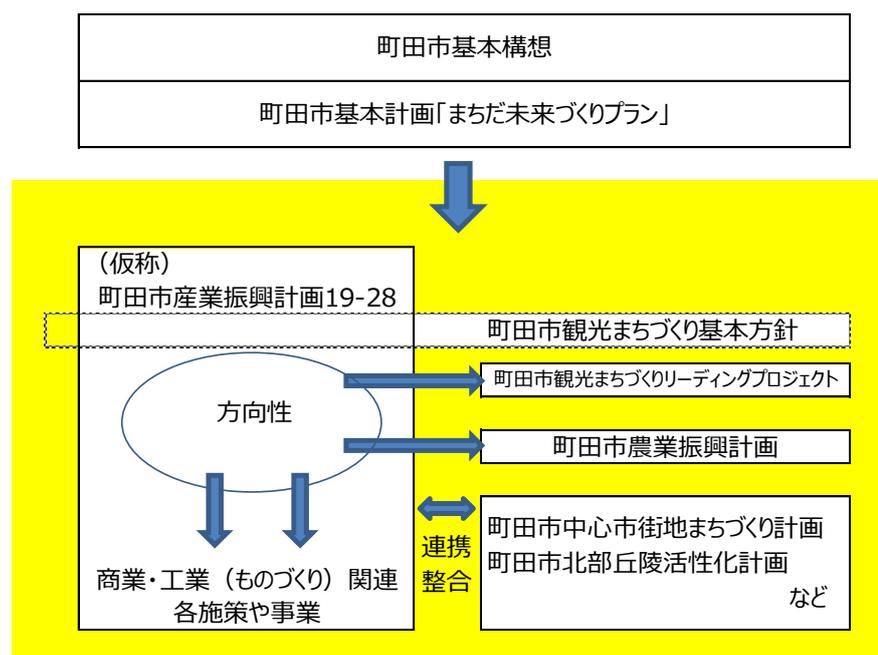
町田市が“選ばれる都市”であり続けるためには、将来を見据えた市の産業振興ビジョンを示し、戦略的かつ計画的に各施策に取り組む必要があります。この産業振興ビジョンとして、「(仮称) 町田市産業振興計画19-28」を策定します。

2 計画の位置づけ

「(仮称) 町田市産業振興計画19-28」は、「町田市産業振興基本条例」に基づく計画であり、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」を受けて、主に商業、ものづくり産業（工業）を中心とした部門計画として位置づけます。

これまでの計画とは異なり、観光分野と農業分野の各施策や事業はそれぞれ、「町田市観光まちづくり基本方針」に基づく各プロジェクト及び「町田市農業振興計画」に委ねることとします。

また、「町田市中心市街地まちづくり計画」など、他の関連計画との連携・整合を図ります。



3 計画の考え方・方向性

現行の「町田市新・産業振興計画」に基づいた取り組みでは、町田新産業創造センターの開設、トライアル発注認定制度や産業財産権取得支援制度の開始といった「ものづくり産業の活性化」「事業者の活動する環境づくり」の面において成果が得られました。

新たな計画では、現行の計画の進捗状況を踏まえた上で、町田市の強み（大規模な商圏人口、交通利便性、高い起業・創業機運）や課題（大規模工場の立地に適した土地が少ない、有効求人倍率が低い）を的確に把握し、施策の方向性を検討していきます。

■施策の方向性と考え方（案）

番号	方向性	考え方
①	新産業の育成促進	起業・創業により、まちが発展的かつ継続的な新陳代謝を起こし、時代の先を読む新たな産業が芽吹く風土を醸成する。
②	既存産業の転換・再生・成長支援	厳しい操業環境にあっても、意欲的に時代のニーズに対応しようとする事業転換を支援、後継者問題解消を促し、市内産業の底上げを図る。
③	事業者の付加価値向上に向けた取り組み支援	オープンイノベーション等を活用し、良質な商品、新規性のある商品を開発・販売する事業者を支援することで、生産効率やブランド力の向上を図る。
④	職住近接のまちづくり	子育て中の方々を中心に、ワークライフバランスの取れた働き方ができるよう市内の就業機会の確保、環境整備を行い、定住促進を図る。
⑤	中心市街地の魅力向上	町田発の新たなライフスタイル、町田カルチャーが続々と生まれるまちへ空間的な魅力を高め、人を呼び込み滞在時間を増やす。

4 計画策定体制

計画策定の検討には、次のとおり、学識経験者、産業振興関連団体の代表者などで構成する計画検討委員会を設置します。

- ・学識経験者 2名 ・商工会議所の代表者 1名
- ・町田新産業創造センターの代表者 1名 ・市内金融機関の代表者 1名

5 スケジュール

- 2018年 1月 計画策定に係る基礎調査開始
- 2018年 9月 計画素案完成（2018年第3回定例会にて行政報告）
- 2018年10月 パブリックコメント
- 2019年 3月 計画策定・公表（2019年第1回定例会にて行政報告）